

自治医科大学附属さいたま医療センター内科系後期臨床（シニア）研修プログラム

さいたま医療センターにおける内科系後期臨床研修は、「自立して患者を診ることができる医師」になるために、初期臨床研修で培ってきた「4 As」：Availability（いつでも連絡可能な信頼性）、Affability（親身な態度）、Ability（信頼できる手腕、能力）、Accountability（責任感）に磨きをかけ、内科診療の集大成として全員が日本内科学会の総合内科専門医資格を取得することを目標と掲げ、加えて Subspecialty（得意とする専門分野）の専門医取得を視野に入れた研修をめざしている。

1. 対象

初期臨床研修修了（予定）者

2. 研修目標

- A) 日本内科学会認定内科医資格（以下認定内科医）の取得、およびその後の日本内科学会認定総合内科専門医資格（以下総合内科専門医）の取得
 - B) 認定内科医の取得、およびその後に希望する内科専門領域の専門医資格の取得
- A) かつ B) の取得を目標とし、内科全般および希望する内科専門領域の知識、技能を会得する。

3. 研修コース

研修目標をめざす上で、以下の2つのコースから選択できる。

- A) 内科総合研修：最初の2年間内科総合（内科系病棟、救急病棟）研修を主とし、残り2年間内科専門領域研修を行う。
 - B) 内科専門領域研修：シニア1年次から内科専門領域研修を主に行うが、認定内科専門医資格取得のため内科系病棟と救急病棟研修も同時に行う。
- 専門科の研修プログラムは「診療科のホームページ」へ。

4. 研修期間

4年間（最長6年、認定内科医資格を取得しなければシニア3年次になれない）
所定の研修課程を修了し認定内科医を取得した後期臨床研修終了者に、「後期研修修了証」を授与する。

5. 採用試験

面接試験により採用される。中途採用はない。

6. 募集人数

A、Bコース 若干名

なお、専門領域研修は、各領域の科長の推薦によりセンター長が許可する。

図1 内科系後期研修プログラムの模式図

内科総合研修(点線)と内科専門領域研修(実線)とは、総合領域と専門領域の比重が異なる(6~9ヶ月間の関連医療機関への派遣を含む)

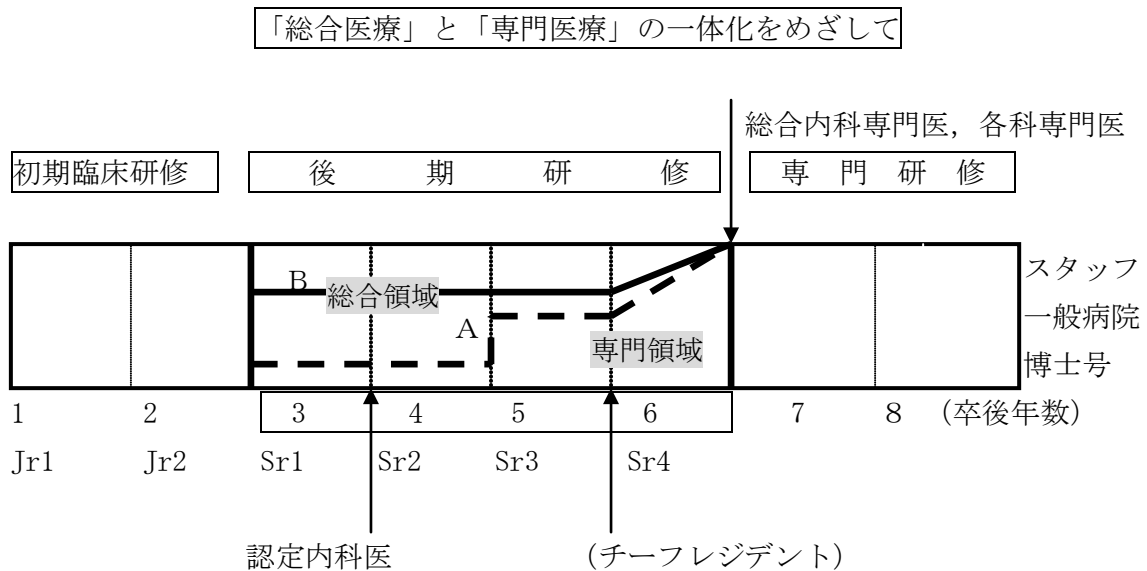


表1 各研修の実例(数字は、%)

各研修のおおよその比率(%)を示す。各人により若干の変更がある。

4年次チーフレジデントに指名された者は、1年間、希望する専門領域のある病棟の専属となる。

ただし、当直業務は、ここに含まれない。

この例は、後期研修2年目までに認定内科医を取得した場合である。認定内科医を2年次終了までに取得しないとシニア3年次に上がれない。

指定された研修以外のオプションは、各研修の最も比重の高い領域のうち10%まで相談に応じる。

1. Aコース：内科総合研修(関連病院研修6ヶ月以上9ヶ月以内を含む)

	1年目	2年目	3年目	4年目
総合領域(救急を含む内科系病棟)	80	80	50	20~30
専門領域	20	20	50	70~80

2. Bコース：内科専門領域研修(関連病院研修6ヶ月以上9ヶ月以内を含む)

	1年目	2年目	3年目	4年目
総合領域(救急を含む内科系病棟)	40~50	40	40	20
専門領域	50~60	60	60	80